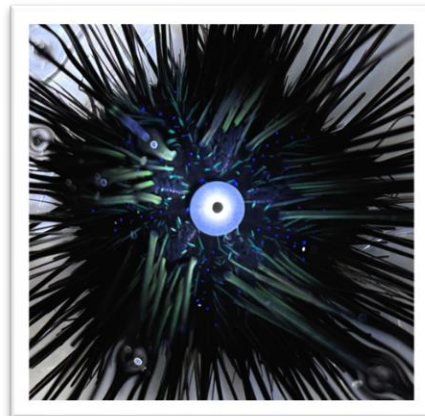
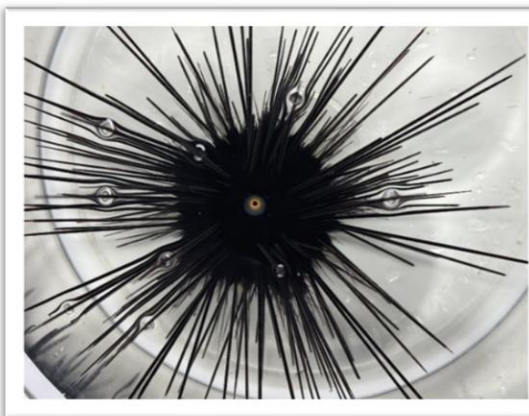


今日の一品

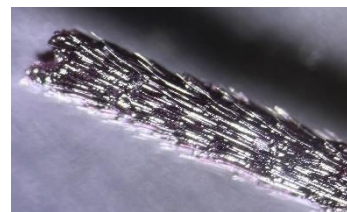
／ ガンガゼ ／



潮だまりの岩のすき間に黒くて長いトゲがびっしり生えた生き物を見たことはありませんか？それが今回ご紹介する、「ガンガゼ *Diadema setosum*」です。英語名は「long-spined sea urchin」つまり、「長いトゲのウニ」。

ガンガゼは棘皮動物で、ヒトデ（下写真）やナマコの仲間です。見た目の最大の特徴は、やはりその長くて鋭いトゲ。トゲの長さはなんと20センチ近くになることもあり、体よりもトゲのほうが目立ちます。ガンガゼはこの長いトゲを細かく動かして外敵から自分の身を守るのです。しかも、このトゲ、**毒をもっている**うっかり刺されるととても痛い…。海で出会っても**絶対に触らない**ようにしましょう。

古い図鑑などでは、「ガンガゼのとげには返しがあって、ささるとぬけにくい」と書いてあるものがありますが、実際には返しはありません。顕微鏡で観察すると逆に、先の方に向かって、小さなとげがたくさん生えています。（右写真）



長いトゲの奥をよく見ると、体は五角形。中央部にはオレンジ色の目玉のようなプルプルとした球体がついています。これは眼ではなく、肛門です。写真を撮影している間にも、フンをする様子が見られました！

棘の先端部を拡大したもの

そしてその肛門の脇をよく見てみると・・・青く神秘的に光る点が！これがガンガゼの「眼（眼点）」です。この青い眼点は、光をあてて観察してみると、体中に分布しており、とってもキレイ！（上右写真）この眼点では、明暗を感知することができます。天敵であるイシダイなどの魚の影を感知すると、その方向にトゲを向け、防御行動をとるといわれています。ガンガゼの上に教科書などで影をつくると、トゲを動かす行動を観察することができます！

～ イトマキヒトデ ～

ガンガゼと同じく棘皮動物であるイトマキヒトデ。見た目でわかる、ガンガゼとの共通点を探してみましょう！



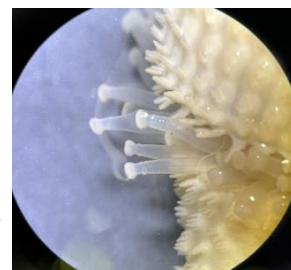
背側

腹側

腕の先端や腹側からウニョウニョとたくさんの管足がのびています。

ガンガゼの体は五角形、ヒトデも5本の腕を持ちます。棘皮動物は五つの同じ構造が放射状に配置する体のつくりをしています。（五放射相称）

ガンガゼもヒトデも、管足を使って移動します。顕微鏡でみると、管足の先端が膨らんでいるのがわかります。管足内を水が出入りすることで、この先端部で吸盤のようにくっついたり離れたりすることができます。ゴツゴツした岩場も、この管足があればスムーズに移動できそうですね。



※すべて立高内で撮影した写真です